

学校とボランティアをつなぐために

(コーディネーターへのメッセージ)

学校支援ボランティアには、活動に対する思いや考えがあります。そして、学校には教育活動のねらいがあります。コーディネーターは、ボランティアと学校の間に立って両者を結びつけるだけでなく、両者の思いやねらいを受けとめ「協働」という対等な関係で、一緒に活動を作り上げていくための調整をします。

地域コーディネーターって何をするの？

受けとめる

「ボランティア活動をしたい」という地域住民の思いや、「ボランティアの応援がほしい」という学校のニーズを受けとめます。また、活動内容の相談や活動後の感想等についても受けとめ、必要に応じて励ましたり、アドバイスをしたりします。

- 学校のニーズ
- ボランティアのニーズ
- ボランティアの感想、相談、悩み、喜び
- 先生の感想、相談、悩み、喜び

など

知らせる

学校が必要としているボランティアの情報や、実際の活動のようすを地域や学校へ伝えます。

- ボランティアの募集（地域へ）
- 活動のようすを先生や保護者に伝える（学校だより・PTA広報紙等）
- 活動の情報を掲示板等を使って校内の先生や児童生徒へ周知する

など

つなぐ

「ボランティア活動をしたい」と思っている地域の住民と「ボランティアの応援がほしい」という先生をつなぎ、調整します。

- 先生からニーズがあるとき、調整してボランティアを紹介
- ボランティアから希望がある場合に、先生に伝えて活動を紹介
- ボランティアの情報収集と整理

など

育てる

ボランティア活動がよりよい活動となるよう、研修会等の学ぶ機会を提供します。

- 先生やボランティアの研修の企画と実施
- ボランティアと先生の交流会の実施
- この冊子「地域と学校を結ぶときに」から、必要な内容をコピーし配布
- 活動案の作成

など

